

国際融合文化学会 (ISHCC) 『融合文化研究』原稿募集要項

2026. 7. 21 改定

募 集 要 項

1. 会員の国際融合文化に関わる研究論文の発表の場として、学会機関誌を創刊した。名称は『融合文化研究』とする。投稿は国際融合文化学会の会員に限る。但し、会長が認めた場合はこの限りではない。
『融合文化研究』は、第 31 号から電子版のみ発行する。
2. 原稿募集期間については、その都度学会事務局（または編集委員会）より、学会ホームページで告知する。また、必要に応じて、電子メール等で連絡するものとする。
投稿先アドレスは、原稿募集期間（締め切り日厳守）のみ有効とする。
3. 応募論文は、融合文化に関連するテーマであることが望ましい。応募論文は、学会誌等に未発表の論文であること。但し、口頭発表済ではあるが学会誌等に投稿していないものについては、その旨を明記していれば、審査の対象となり得る。
また、翻訳やエッセイ、創作作品を投稿することもできる。
4. 原稿の採否及び掲載順序は、審査委員会及び編集委員会で査読の上、決定する。
5. 投稿論文や作品（データ等）は返還しない。
6. 募集要項・執筆規定は改定されることがある。詳細は、学会ホームページで確認願いたい。
7. 著作物や論文等からの引用（図表や写真等を含む）は、出所を明記すること。

執筆規定

1. 原稿の書式 Microsoft Word を使って原則として横書きで作成すること。
B 5 判 横書き 40 字 35 行（英文は 40 行） 10 ポイント 4 ページ以上（タイトル、注、図版等すべてを含めて、操作は「ファイル」>「ページ設定」から） ページ数は、原則として偶数ページで終わるものとする。余白（上 25 mm 下 20 mm 右 20 mm 左 20 mm ヘッダー 12 mm フッター 10 mm） 本文のフォントは、和文は MS 明朝、英文は Century とする。英字と 2 桁以上の数字は半角で入力する。
2. 和文タイトルには、英訳を付けること。英文タイトルには、和訳を付けること。
タイトルのフォントは、和文は MS ゴシック 14 ポイント、英文フォントは Century Gothic 14 ポイントとする。1 行あけて氏名（MS ゴシック 12 ポイント）、英文氏名（Century Gothic 12 ポイント）とする。尚、タイトルと氏名は太字とする。
3. 和文論文には、英文の要旨を付けること。英文論文には、和文の要旨を付けること。要旨は 5 行以上 20 行以内とし、最後に key words をあげる。要旨は氏名から 2 行改行して本文を始める。
4. 和文タイトルの後、改行して英文タイトルを入れ、1 行あけて和文氏名を入れ、改行して英文氏名を入れ、2 行あけて英文要旨を入れ、2 行あけて本文を書き出すこと。英文論文は、和文と英文に順序を逆にする。英文氏名は、姓を先にして MUNAKATA Kuniyoshi の形式とする。ローマ字は原則としてヘボン式とする。
5. **完全原稿で提出すること。英文は、必ずネイティブ・チェックを受けておくこと。**また、日本語を母国語としない執筆者が日本語で書いた文章は、しかるべき日本人によるネイティブ・チェックを受けておくこと。
6. 編集委員会では、査読に関する業務、掲載順序の決定、ページ付け、目次作成等を行う。原稿の校正・修正は行わず、最終提出された原稿（データ）をそのまま用いるものとする。
7. 原稿は、原則として E-mail の添付ファイルで提出すること。
8. 執筆希望者は、学会ホームページ上の電子学会誌を参照願いたい。

生成 A I 使用ガイドライン

基本的方針

1. 著者は、生成 AI（ChatGPT, Gemini, Claude その他これに類するもの）を、文章の校正・推敲・翻訳補助・要約その他の補助的用途に利用することができる。
2. 論文作成に関しては、生成 AI の使用は限定的な範囲にとどめること。原稿の全部又は殆どを生成 AI で作成したものは、著作物とは認められない。
また、生成 AI を使用した場合は、本文中又は注記にその名称及び使用目的・使用範囲（使用箇所）について明記すること。
3. 論文の着想、構成、記述、引用及び結論についての学術的責任は、全て著者が負うものとする。生成 AI は、著者及び共著者とは認めない。
また、生成 AI の使用による著作権侵害などの法的・倫理的責任は、全て著者に帰属する。
4. 編集委員及び査読者は、投稿原稿その他の未発表資料を、機密性が確保されない生成 AI サービスに入力してはならない。